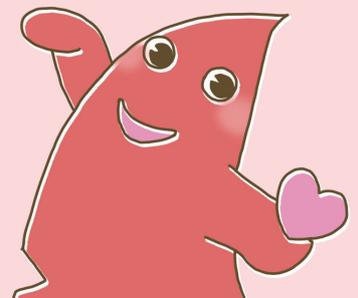


第二期大和市子ども・子育て支援事業計画

ハートン プラン



令和2年3月
大和市



はじめに

わが国では、未婚化や晩婚化を背景に出生数の減少が予想を上回るペースで進んでおり、少子化の進行、人口減少は深刻さを増しています。また、共働き家庭の増加による保育ニーズの急速な増加をはじめ、核家族化や地域の人間関係の希薄化に伴う子育ての孤立化、児童虐待や子どもの貧困など、子ども・子育てをめぐる私たちが向き合うべき課題は山積しています。

本市においても、婚姻率や合計特殊出生率は県内でみると高い水準にはあるものの、年少人口割合は徐々に減少する見込みです。少子化が進む中であっても、安心して子どもを産み育てられる環境を整えることは、市民に寄り添う基礎自治体の重要な役割であると考えています。



このため、本市では、平成27年4月にスタートした子ども・子育て新制度に基づき、「第一期大和市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画期間内には、保育所等の整備を積極的に進め、4年連続で4月1日時点での待機児童数ゼロを達成するとともに、不妊治療や不育症治療への助成、子育て何でも相談・応援センターの設置など、妊娠を考えた時から、妊娠、出産、子育て期に及ぶ切れ目のない支援を積極的に展開してまいりました。

今般、これまでの取組をより一層充実させるために、令和2年度から5年間の新たな計画として、「第二期大和市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

本計画では、教育・保育の量の確保と質の向上をはじめ、放課後の子どもの居場所の更なる充実、家庭の経済状況に関わらず子どもたちが健やかに育つための支援など、さまざまな子育て支援施策を進めることで、基本理念に掲げた「すべての子どもの健やかな成長を支えあうまち・やまと ～地域と共に安心して子育て・親育ち～」の実現を目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査や市民討議会、意見公募手続き等において貴重なご意見をいただきました市民の皆様をはじめ、長期間にわたり熱心な議論をしていただいた大和市子ども・子育て会議委員の皆様にご心より御礼を申し上げます。

令和2年3月

大和市長 大木 哲

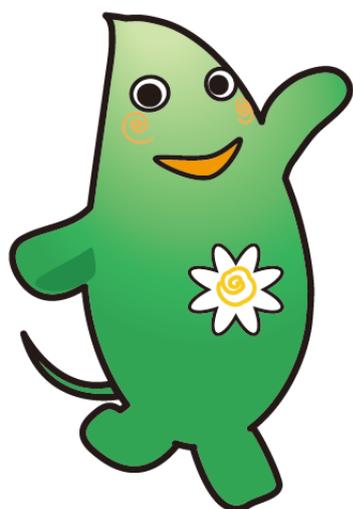
目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	3
4 計画の策定経緯	4
第2章 大和市の子どもと家庭を取り巻く現状	5
1 少子化の動向	5
2 子どもと子育てを取り巻く状況	9
3 第二期子ども・子育て支援事業計画への課題	13
第3章 計画の基本的な考え方	15
1 基本理念	15
2 基本目標	16
3 施策の体系	18
4 個別事業一覧	19
第4章 子ども・子育て支援事業計画の基本的事項	24
1 子ども・子育て支援事業計画に実施計画の記載が求められている事業	24
2 教育・保育提供区域の設定	28
3 量の見込み（目標事業量）の算定に用いる児童人口推計	29
4 幼児期の教育・保育	32
5 地域子ども・子育て支援事業	37
6 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制の確保の内容	54
7 子育てのための施設等利用給付の円滑実施の確保の内容	55
8 その他の事項	56
第5章 施策の展開	59
基本目標1 希望する幼児期の教育・保育が受けられる体制づくり	60
基本目標2 親育ち・地域の子育て力を育む基盤づくり	66
基本目標3 安心して産み育てやすい環境づくり	75
基本目標4 子どもの生きる力をのばす環境づくり	86
基本目標5 さまざまな家庭の状況に応じた支援体制づくり	92
第6章 計画の推進に向けて	107
1 計画の推進体制及び進行管理	107
2 個別事業の点検・評価	107
3 情報公開	107

附属資料	108
1 本計画の策定経過	108
2 大和市子ども・子育て会議規則	110
3 大和市子ども・子育て会議委員名簿	112
4 大和市子ども・子育て事業計画 50 音順個別事業一覧	113

計画の愛称『ハートン プラン』について

ヤマトンの友達のハートンは優しい心を持った妖精です。子どもたちを優しい心（ハート）で守り育てていくこと、子どもたちにも優しい心を持って育てほしいとの思いを込めました。



大和市イベントキャラクター
ヤマトン



ハートン